

「インドを旅行する日本人旅行者における疾患発生要因に関する研究」（本研究用）へご協力をお願い

インドを旅行し、インド国内のサンタナゲストハウスに宿泊された方へ

【背景】

旅行者における旅行者下痢症は、先進諸国からの旅行者が発展途上国を旅行する際に最も頻繁にかかる症状です。欧米諸国では、旅行者における下痢症に関する知見が蓄積されてきましたが、日本人旅行者においては、その発症頻度や原因を詳しく調査した疫学研究はまだ行われていないため、その実情が明らかにされていません。

【目的】

この研究は学術的な目的で行われます。研究の目的は、開発途上国を旅行する日本人における旅行者下痢症をはじめとした疾患の発生頻度やリスクの高い要因を明らかにすることです。

この研究を行うことにより、インドなどの途上国や熱帯・亜熱帯地域を旅行する旅行者の下痢症やその他の疾患と関連する要因を明らかにすることで、その対策を講じ、今後の旅行がより安全に計画通りに行えるようにするという医学上の貢献がなされることが考えられます。

【内容】

この研究は、インド国内 3 か所で、日本人旅行者のための宿を提供しているサンタナグループと連携して行い、旅行中の旅行者の食事や行動と下痢症その他の症状との関連を調べます。サンタナに宿泊されているみなさまには宿泊期間中に、質問票にあるいくつかの質問項目について回答していただきます。調べる項目は、年齢・性別、予防接種歴などの対象者基本情報と旅行中の食事・生活や衛生の習慣について、そして旅行中に発生した下痢症など健康に関することで、インターネット上の質問票に回答していただきます。

【予定調査期間】

この研究は許可日から 2032 年 3 月 31 日の期間に実施されます。

【研究対象者】

インド・サンタナグループの宿（デリー・バラナシ）に宿泊利用される方を対象とし、約 2500 人の方に実施される研究です。この研究の参加に同意して下さる、日本人のサンタナ宿泊利用者を対象としています。日本人以外やインターネットの利用法が分からない方は対象にはなりません。

試料・データからは、個人が特定される情報を取り除き、照合のための番号をつけ、取り扱うスタッフを限定した上で、細心の注意を払い厳重に管理、保管します。試料・データは、研究終了から 5 年間は保管され、その後、個人情報に十分に注意して廃棄します。

【研究実施体制】

この研究は、岐阜大学、名古屋工業大学、京都大学にて実施されます。

データ収集場所は、インド・サンタナグループの各宿（プリー・デリー・バラナシ）です。

この研究にかかる費用は、科学研究費補助金、講座費（岐阜大学）等から拠出される予定です。

【研究への参加同意と同意撤回】

この研究についてご理解いただき、研究に参加していただける場合は質問票への回答をもって、参加への同意とさせていただきます。いったん同意した場合、無記名アンケートであるため、回答後の同意の撤回はできません。

なお、16 歳以上 18 歳未満の方については、親権者等に帰国後に説明文書を手渡していただくか、岐阜大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野のホームページ (<https://www1.gifu-u.ac.jp/~ph/>) を案内していただき、研究内容をご確認していただけます。

【相談窓口】

この研究についてわからないことがあった場合には、遠慮なく下記の連絡先にお問い合わせください。

また、この研究は身体に危害を及ぼすものではなく、研究に参加することによる生命への危険性はありません。体調に不安を感じておられる方は、まずはサンタナの管理者にご相談ください。医師の相談を受けたい場合は、サンタナの管理者にその旨をお伝え下さい。

サンタナグループ 代表：フォクナ・ダッシュ

電話：+91-6752251491（サンタナオフィス）

Eメール：india.santana.info@gmail.com

問い合わせ等の連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 公衆衛生学分野 准教授 山川 路代

電話：058-230-6411 9時00分～18時

住所：〒501-1194 岐阜市柳戸1番1号

Eメール：yamakawa.michiyo.e1@f.gifu-u.ac.jp

【情報公開】

この研究の結果は、個人情報かわからない形にして、学会や論文、研究室のホームページ等で発表しますので、ご了承ください。